



25年度決算認定

第4回定例会概要

一般質問

第4回臨時会概要

委員会レポート

2~3 P

4 P

5~8 P

8 P

9 P



行状況と効果などを主眼 経常経費、投資経費の執

②職員の定員管理につい

ては、行財政改革におい

反映されたのか。

また、

執行にあたりどのように

した意見が予算編成及び 決算審査特別委員会が付 審査にあたって

平成25年度は、

過去に

て報告いたします。

おり審査意見を付して認

ても

取り組みがされてき

ているが、

住民福祉、

活用と、

に審査した結果、

定すべきと決しました。

*歳入について

がることのないよう、

投資効果を望むものであ

伊藤

金

サービスの低下につな

平成26年第3回定例会で決算審査特別委員 会(大道重治委員長)に付託され、閉会中の継続 審査になっていた平成25年度各会計歳入歳出 決算の認定は、委員会審査の結果、委員会の審 査意見を付して認定すべきものと、第4回定例 会に委員長から報告され、本会議において委員 長報告のとおり認定されました。

決算審査特別委員会

月 19 日、 定について、 号平成25年度南富良野町 において、 各会計歳入歳出決算の認 に付託された、認定第1 -成26年第3回定例会 20 貝 本特別委員会 平成26年11 委員長報告 21 日 の 3 す。 おり、 の連携の下、 対策を立てるなど、 納率については、

◆歳出につい

日間審査した結果につい

図るべきである。 ることや、 理にも多くの経費がかか 施設については、 から、早急に有効活用を 寮などその目的を終えた ①閉校後の校舎や旧独身 にも大きく影響すること 地域の活性化 維持管 ともに、

ものは早急に実施すると 執行のうえで改善できる 執行にあたっては懸命 基本に自主財源の効果的 続き公平・公正な行政を 詳細な意見があったもの の審査の中で各委員から 項の中から主な意見を述 については、今後の行政 べましたが、 確に把握しながら引き 各種事業などの 町の財政状況を 特別委員会 決算審査特別委員会 副 委 委員長 員 長

く願うものであります。 成及び執行への反映を強

と努力が必要と判断しま 納率の向上を図るための と比べわずかに下回って 町税及び使用料等の収 今後も引き続き収 更なる工夫 前年度 係間 質の向 正配置、 これからのまち 性に合わせた適 務事業量と継続 づくりのための また、

ことが必要であ 職員の能力、資 以 上を図る 審査事

り、 平成2年度の予算編



◆決算の状況

小出

大道

酒井

年 直 重 由

(万円未満四捨五入)

▼ // >	▼ かくみょう いんじ							
	一般会計	特別会計	国民健康	後期高齢者	介護保険	節目小送声器	公共下水道	
	мдан	13/31/241	保険事業	医療事業	刀 護休 映	簡易水道事業	事業	
歳入	50億9543万円	9億7349万円	3億8785万円	3863万円	2億5898万円	1億5792万円	1億3011万円	
歳出	49億1089万円	9億6122万円	3億8276万円	3863万円	2億5598万円	1億5568万円	1億2817万円	



平成25年度一般会計歳出総額49億1089万円

6会計総額58億7211万円を認定

◆決算審査とは

決算書は、一般に一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績について作成される確定的な計数表をいう。歳入歳出予算の適正な執行の有無が確認される。

決算認定は、歳入歳出 予算の執行の実績を確認 し、その執行の適否を審 査するものである。

◆歳 入(一般会計)

	区分		平成25年度	平成24年度	増	減	額		
地	方	交	付	税	26億2802万円	26億3379万円		57	7万円
町				税	2億7109万円	2億7415万円		30	6万円
国	庫	支	出	金	5億1235万円	1億 920万円	4	億 31	5万円
道	支		出	金	2億1805万円	1億5305万円		650	0万円
地	方	贈	与	税	6139万円	6458万円		31	9万円
町				債	8億 863万円	3 億7037万円	4	億382	6万円
そ		の		他	5 億9590万円	3 億9604万円	1	億998	6万円
	合		計		50億9543万円	40億 118万円	10	億942	5万円

◆歳 出(一般会計)

	区分		平成25年度	平成24年度	増	減	額		
民		生		費	4 億2598万円	4 億4314万円	A	171	6万円
職		員		費	6 億6610万円	6 億5256万円		135	4万円
衛		生		費	2 億2971万円	2億 911万円	2060万円		0万円
農	林	産	業	費	4億 513万円	2 億8003万円	1	億25	10万円
土		木		費	3 億5078万円	2 億2431万円	1	億264	17万円
公		債		費	7億3521万円	6 億5440万円		808	31万円
教		育		費	12億3578万円	3 億6217万円	8	億736	31万円
商		エ		費	3 億3509万円	2億1995万円	1	億15	l4万円
総		務		費	4億6325万円	7億3834万円	▲ 2	億750	9万円
そ		の		他	6386万円	4224万円		216	2万円
	合		計		49億1089万円	38億2625万円	10	億846	4万円

◆基金・積立金及び地方債残高の推移

◆基金・積立金及び地方債残局の推移			
基金・積立金	平成23年度末残高	平成24年度末残高	平成25年度末残高
普通財産基金	6 億5806万円	6 億5808万円	7億 809万円
町融資基金	5000万円	5000万円	5000万円
民有林振興融資基金	2000万円	2000万円	2000万円
土地開発基金	9949万円	9949万円	9985万円
公共施設等整備基金	4億4003万円	6 億4383万円	6億9384万円
農業振興融資基金	1億円	1 億円	1億円
減債基金	2176万円	8307万円	4237万円
地域福祉基金	9276万円	9276万円	9276万円
中山間ふるさと・水と土保全基金	1076万円	1075万円	1075万円
南富良野町国民健康保険事業基金	1540万円	1540万円	1540万円
まちづくり応援基金	1022万円	1043万円	1532万円
高等学校特別・学習支援員設置基金	568万円	0円	0 円
北海道市町村備荒資金組合納付金	10億1142万円	11億2001万円	11億2895万円
슴 計	25億3558万円	29億382万円	29億7733万円
地 方 債(借 入 金)	平成23年度末残高	平成24年度末残高	平成25年度末残高
一般会計	65億4192万円	63億5260万円	65億1292万円
簡易水道事業特別会計	9億4571万円	8億9955万円	8億5563万円
公共下水道事業特別会計	8億5115万円	8億 251万円	7億5288万円
合 計	83億3878万円	80億5466万円	81億2143万円

平成

26年第

4回

町議会

会で決算審査特別委員会









283万円



旨



平成26年12月18日~19日

一般	会計補正予算の主なもの(歳	出)
予算科目	事 項	補正額
一般管理費	まちづくり応援基金積立金	164万円
社会福祉総務費	介護給付費訓練等給付費	257万円
児童福祉総務費	子ども・子育て支援新システム導入 委託料	378万円
保健衛生総務費	簡易水道事業特別会計繰出金	▲161万円
林業振興費	林業専用道久住川向線開設工事	▲173万円
你 未 派 典 貝	林業専用道スキー場線開設工事	▲265万円
観 光 費	道の駅再開発構想作成委託料	202万円
土木総務費	公共下水道事業特別会計繰出金	350万円
	南富良野町管内路面性状調査委託料	▲262万円
道路橋梁新設改良費	東幾寅線整備事業に伴う用地調査委 託料	▲130万円
	東幾寅線整備事業に伴う改良工事	▲306万円
住宅管理費	修繕料	299万円

定管 指 理者の指定 公の施設の名称 選 指定する団体 指定の期間 南富良野町 特定非営利活動法人 募 公 町民体育館 どんころ野外学校 特定非営利活動法人 空知川スポー 公 ツリンクス どんころ野外学校 平成27年 かなやま湖スポー 特定非営利活動法人 公 4月1日 ツ研修センター どんころ野外学校 金山地区コミュ 非公募 金山民主会 ニテイセンター 落合地区多目 平成30年 非公募 落合連合町内会 的センター 3月31日 北落合除雪管 非公募 北落合連合会 理センター 特定非営利活動法人 南富良野情報 公 募 プラザ 南富良野まちづくり観光協会

学校管理費

光熱水費

質問 あり、 間報告、 され、 興公社対策特別委員会中 総務常任委員会報告、 日までの2日間と決めた 定例会は、 (質問の内容と答弁の要 は5~8 議会運営委員会及び が 3議員による一般 会期を18日 行われました。 議員派遣報告が 12 月 18 ~ | 第3回定例 - ジに掲 日招集 1から 19 て審議 別会計 続き、 ました。 意見を付して認定する旨 定について、 おり認定しました。引き 0 各会計歳入歳出決算の認 に付託された平成25年度 報告があり、 指定について審議を行 2日目は、 し原案通り可決し の補正予算につい 般会計及び4特 委員長より 指定管理者 報告のと

き続き、 事務手続上の不備により 町議会定例会を終了し 止につい 原案を否決しました。 市町村圏 目的センターについては いて原案通り 下金山 なお、 全日程を終え第4 を除く7施設につ 富良野地区広域 て原案通り可決 振興協議会の廃 下金山地区多 地区多目的 可決しまし 引

平成26年度各会計補正予算 893万円を追加し、総額49億7677万円

会 計 区 分	補正額	補正後の総額
一般会計	67万円	39億6085万円
国民健康保険 事業特別会計	447万円	4億1221万円
後期高齢者医療 事 業 特 別 会 計	_	4062万円
介 護 保 険 特 別 会 計	165万円	2 億7794万円
簡易水道事業特別会計	145万円	1 億6929万円
公共下水道事業 特 別 会 計	69万円	1億1586万円
合 計	893万円	49億7677万円

しては毎月1回除雪作業

することにならないよう

がら、

後継者を職員採用

な

間

動きがない場合、

また、委託事業者に対

通信システム整備の内容は 占

答 携帯電話回線を利用した 機械的な システムを導入 見守 IJ



*道路の除雪

今年度の除雪体制

研修の実施 び除雪従事者への指導、 ①委託事業者への指導及 の2点について伺う。 雪作業を行うことができ の除雪であり、 るのか心配されるので次 除雪を期待しているが、 においては、 することになった。 組織団体に委託して除雪 は、民間建設業者と地域 人や車が行き交う道路で きめ細かな 安全に除 地域 さらに必要な箇所につい を自主点検していただき 業者には事前に除雪箇所 ては昨年より本数を増や

②道路管理·道路除雪専 門技術者の職員配置 町長 ①30年以上に

普段の生活における注意 内容は、 だき、委託先の除雪従事 挙げて指導等を受けた。 には具体的な事故事例を チェックポイント、 会を実施した。 者を対象に安全運転講習 山伏パコムの協力をいた 除雪業務に従事している たって国道38号線などの 項や作業状況別の 飲酒や睡眠など 講習会の さら わ

供するなどして指導及び を立てているが、委託事 要箇所にはスノーポール 連携を図っていく。 告書の提出をしていただ 他 資料等は、 全教育実施にあたっての くこととなっている。安 後はその内容について報 を義務づけし、 に対する安全教育の実施 事故防止のための主 適宜町から提 実施終了 その

②現在町職員でグレ うなど、安全対策の徹底 を進めていきたい。 指摘事項について再度委 域の方々からいただいた して対応をしていただい 託事業者に対し指導を行 ている。また、昨年度地

る。 てい と考えている。 であり、後継者を育成し 5年は現場の経験が必要 運 になるには最低でも4 夕 ーや大型ロータリーを 転できるのは1人であ かなければならない 専門技術者が一人前 遅きに失 ②職員の採用状況を見

今後進めていきたい。 中で適正配置も含めて 全体の職員配置計 画

②道路管理の職員配置予 ことは可能か。 作業時間に幅を持たせる 地域の除雪従事者や地域 定はいつ頃か。 の人たちの意見を聞いて、 かさを期待しているので、 ができる。 ることできめ細かな除雪 状況によって幅を持たせ ないことになっているが

声として受けとめ対応し 聞き、それらを地域の 域の声を行政側としても やってもらうように、 知数な部分はありますが、 てもらうように進めてい できめ細かくやれるか未 まったばかりで、どこま の除雪従事者もまだ始 分受けとめている。 てほしいということは十 もっときめ細かく除雪し 方々にしっかりと地域の 町 長 ①地域としては 地域 地

うにしていきたい。 0 し 道路

時までに終えなければな ①全ての作業を8 地域もきめ細

データから室内で一定時 ときに人感センサーの の緊急ボタンが押された ことがでる。 ネットから関係者が見る の動きを検出しインター ている。このシステムは、 テムの導入を現在検討し その補完機能の一つとし 配置をすることで居室内 人感センサーを自宅内に した機械的な見守りシス て携帯電話回線等を利用 マンパワーの限界がある。 町長常時の見守りには さらに端末

行政側の体制をとるよ 専門職員として

否確認を行い、

それでも

応答がない場合には事

前

に登録をされている緊急

*緊急通信システム整備

対応を依頼するなど24時 連絡先に順次電話をかけ

②年次ごとに行う実施基 箇所を年にどの程度考え がどのぐらいあるのか。 ①事業内容と設置世帯数 平成27年度から年次ごと 準があるのか。 れている緊急通信システ ているのか。 ムについて伺う。 に整備することで計画さ 設置する

第5次総合計画で 行うに当たり、 うことが可能となる。 していきたい。 中で次年度以降にその具 や課題などの検証を行う その運用についての効果 実際に高齢者宅へ設置し 世帯に機器導入を図り、 度において、 間の緊急時サービスを行 体的な事業として計画を のシステムの実施運用を 実験的に50 平成27年 Z

ルセンターから電話で安 コー 75 歳、 えていきたい。 これを優先的に対応した も今後どのような形で対 世帯もあるので、 約100世帯程あるが、 ければならない世帯数は、 次の対応ということで考 応していくか検証の後、 い。ただ、夫婦世帯でも 75歳以上の単身高齢者が なる世帯は、 なっているが、 ら5年間で整備すると 保健福祉課長 伊藤 計画では27年度 80歳以上の高齢者 現在町内で 設置しな 対象者と これら か

6

旧落合小の活用を含めた地域振興策は 崮

答 具体的な利活用について地域と 協議を行っている

育館、 地域の皆様と論議を十分 具体的に考えているのか さんがどのような利用を と聞いていている。目黒 物で地域としての利用は まえた上で取り組みを進 財源的に手当てが必要な その利活用が可能なのか させていただいたうえで、 いて何点か提案があった 校代表の目黒さんから体 その後、どんころ野外学 難しいという話になった。 か、それらの論議を踏 校舎等の活用につ

めていかなければならな



骰 賃 間 小出直由

の会議の中で、大きな建 を数度開催してきた。そ 別支援プロジェクト会議 利活用を考えているのか。 の協議の中でどのように 域として非常に不満を感 学校の活用を含めて地域 利用については、 じている。今後、 ないのが現状であり、 振興策が何も出てきてい 約1年になるが、 町内旧小学校の再 落合で地域振興特 地域と いまだ 閉校後 り経費をかけていかなけ も出てくる。修繕にかな で、 は、 目程提案があったが、 体的にできるだけ踏み込 が前提にある。今後、旦 ればならないということ 消防施設などの設備改善 体的に進んでいかないの だきたい。 小出 目黒さんから20項 学校だった建物なの 例えば居宅になると

ジェクト会議の中で地域 いと思っている。 緒に論議をしたうえで次 のステップに入っていた としてもう一度行政と一 プロ

ず町内旧小学校の

再 利

用について

お力をいただきたい

んで協議してほしい。

ている。閉校して確かに 利用を具体化できるよう 域振興策として学校の再 尽くして、落合地区の地 もう一度プロジェクト会 ていかなければならない 題など一つずつクリアし 築基準法や消防法などの が、学校の利活用には建 の途中であると受けとめ 議で地域として論議をし 法律的な問題や財源の問 化していくかはまだ協議 1年が経とうとしている 町長 どういう形で具体



利活用の検討が進められている旧落合小学校

福祉担い手対策は 胋

就学支援など職員確保のための 答 誘導策が必要

町村が担うことが基本と 事業の実施主体は本来市 営事業実施要綱において センターにおける国の運 としては高齢者生活福祉 ていると思うので伺う。 しての考え方が煮詰まっ するのだから当然行政と なのか。4月にオープン を含めて採用する腹構え 本当に他に任せていいの 状況を踏まえたときに、 題が出てくる。 こういう 遂行できるのかという問 はつくったがその目的を で論議されなければ施設 |町長||計画当初の考え方 町が職員の身分安定



あった。当分町で運営す と担当課長より説明が は町が管理運営していく 乗会が望ましいが、 日の総務常任委員会で大 管理をしていくのか。 の住宅部分をどのように 中の福祉複合施設の老人

当分

るとしたら何名職員を配

地域背景も十分考えた中 置するのか。人がいない

設質問 議員

酒井 現在、

金山に建

社会福祉施設の管理 運営につい

整理、

の中で、

若者が敬遠して

み園については本町で唯 既存の施設として幾寅地 題となっている状況の中 る従事者不足が大きな問 しかし、介護現場におけ の条件を満たす社会福祉 ある社会福祉協議会が指 区で運営をしているくる とされていることから、 センター等の通所介護事 によってはデイサービス 協議会を想定していた。 施設であり、 本施設においても同様の 行っており、 定管理者として運営を 託することができるもの 業所を経営するものに委 一条件を満たす事業所で 現時点でそ 金山地区の

> 的な方針を提案し、 制のあり方について基本 各種福祉サービス推進体 課長より報告した。 角度から意見をいただき 担として、 と担うべき業務の役割分 保に向けた具体的な方策 マである人材の育成、 担い手対策の大きなテー して今後の本町における 論を踏まえた中で、 ワーキンググループの議 務常任委員会の中で担当 その経過について先の総 模索など、さまざまな 施設系の運営 先般, 福祉 町と

されているが、

地域事情

0

考えている。

ションによる勤務体制を 2名を配置し、 生活援助員3名、 諸条件が整うまでの間は めた運営のあり方として 進めているところで、 を進めていきたいと考え 町直営による運営を図る 両法人との協議を進め 山地区福祉複合施設も含 系は社会福祉協議会がそ については大乗会、 ている。 べく、早々に職員の募集 方向性の中で現在論議を れぞれの役割を分担する 職員については ローテー 宿直人

ポイント

なかな

都会より

それぞ

ŧ 担うにしても同じことで かないと、 おいて一番大きな問題に でいこうとしているのか。 の3者協議の申し合わせ ら大変な問題になる。 の職員は内定していなけ れば、現時点でほとんど 月にオープンするのであ れていると危惧する。 け石に水で実態とかけ離 協議をいくらやっても焼 の複合施設について3者 である。 になっているのかが問題 いる。計画は幾ら立派で 現実を見たときに幾寅の 集めことができるのか。 なっている。 の福祉施設、 がいないことがそれぞれ 営体制ができないとした つくったが十分な管理運 集もしていない。施設を ればならないのにまだ募 しまう。そういう中でこ 市へ引き抜かれていって 一味園も職員が不足して 副町長 体制をとり得る内容 それだけの人材を 同じ条件なら都 福祉に携わる方 どこが役割を かりとってい この問題の 福祉事業に 4 か。 0

そんなに大きく変わらな 町に来てくれないのか。 的な運営をすることで ちらかに集約をさせ一体 するか考えるよりは、 も施設を抱えていて人が 題をどうするか、 想定しながら役割分担 保険制度が変わることも た処遇でないという立場 はない、そういう恵まれ 介護報酬の中での処遇は ということは間違いない。 絶対的に人材が足りない てしていけるのではない 法人があるのが、どちら 祉法に基づく2つの公益 分担については、 者で協議している。 つの問題解決のため今3 める方は増えていくがそ してどういう方向がい 迎える中でこれから介護 な仕事に見合った報酬で い状況だと思うが、大変 なぜ募集しても南富良野 人の足りない部分を手当 いない。その人手をどう れを支える方がいない問 か。福祉サービスを求 担い手対策としては、 今後の超高齢化 社会福 この2 役割 تل として、 る。 ればならないと考えてい 思い切った誘導施策を 来てもらうための就学支 学校などへ行く。 うことで、資格を取るた よくしていく。 では建設景気の中で人が を確保していく制度を側 いるので、 誘導策は難しいと聞いて れの施設で就学支援など 意見が出された。 援制度をつくりながら、 めに職員の皆さんは専門 えていったらどうだとい 処遇がよくなる制度を考 も南富良野に来ることで 中でどうやって人を確保 か地方にはこない状況の 取り合いになり、 面から支援していかなけ 職員を確保しようとする ないのではないかという やっていかなければいけ いった方々に南富良野に していくのか。 いると聞いている。 物理的に処遇を 町費で担い手

そう



乗会、

社会福祉協議会、

とから、

代表者会議、

4月開所予定の金山地区福祉交流センタ

特別養護老人ホーム 現況について

②特養2施設の実情と問 題点について指導機関で 導をしているのか。 ある行政はどのような指 人的援助の実態は。 町 長 酒井 ①本年の財政的 ①平成20年にオー

る。

を派遣する人的支援も 条例に基づき町職員2名 2百万円を負担する財政 るので、修繕や備品購入 施設の老朽化が進んでい で10年間償還で貸し付け ために5千万円を無利子 移譲を進めるために、町 て、一味園の円滑な経営 支援を行っている。加え の一部負担金として毎年 還をしている。 たときに運転資金を補う から大乗会に経営移譲し 毎年3百万円ずつ償還。 会に対し3千万円を無利 金を補うため町から大乗 いては、 ブンをしたふくしあにつ 一味園は、 毎年5百万円ずつ償 10年償還で貸付けし 開設時の運営資 平成22年に町 さらに、 きかもう一度きっちり

ていないという部分でかなかまだわかり切っ ②指導をしているが、 ばならないと考えてい く指導していかなけれ は自助努力をどこまで しているのか、少し厳し

が当たり前なのか異常 足と聞いている。これ 状態が間もなく1年に なのか。異常だとした れがいつまで続くのか。 なろうとしている。こ タッフが不足している 一味園も介護士1名不 ふくし あ の ス 進めていきたい。

うに3者協議で検討す ところがないので、地を の社会福祉法人は頼る 金を設けることは非常 るのが先です。人がい 体制をしっかりやるよ ものが自助努力で募集 てきてない。施設その ら、どうするのかが見え けた以上はどうあるべ な活動をしている。受 はって歩くような地道 に安易である。他の町 ないと聞いたから奨学

も、それなら応援してや をするときには議会から うにこれから3者協議を れと言っていただけるよ ように、行政として応援 助努力を十分発揮できる で、もう一度、町長の決 は福祉ばかりではないの 度考えてほしい。我が町 がないで済むのかもう一 何とかしてくれ、 然と指導する必要がある。 ない。毅然たるものは毅 断を聞かせてほしい。 町長 組織がそれぞれ自 しょう はできないか。

ツ活動について 小・中学校のスポー

いる。 ちろんありますが、 ている。 後、 この旅費は全部保護者負 の遠征費が結構かかって 徒数も多くなくなってき かいない。かつてほど生 小学生全員で120名前 通費に1600円かかる。 良野などで大会がある。 少年団、中学生の部活動 中学校は60名前後し 富良野までの往復交 中体連以外にも富 小学生のスポーツ 財源の問題もも

半額程度を支援できな 年団と中学校の部活の について、1回行くのに きに少年団活動や部活 たちのことを考えたと について検討すること として父兄の経費軽減 まえ、少子化対策の一環 委員会として実態を踏 派遣費をもう一度教育 いか。このスポーツ少

その後、 とも協議していきたい 感じている部分の軽減 援を行ってきている。 部活動対外競技等参加 も、少年団同様に中学校 学校の部活動に対して 金を増額した。また、 ポーツ少年団活動助成 について今後競技団体 ますが、保護者が負担を がきていることもあり 支援金制度を創設し支 町長 平成24年 団体からも要望 度にス 中

平 成26年第 4 回

臨時議会

11 月 28 日

◆専決処分の承認(2件)

衆議院議員総選挙執行 経費の補正予算

◆条例の改正 (4件) 費の改定 人事院勧告による給与

議会の議員の議員報 及び費用弁償等に関す 酬

南富良野町長等の給与

(プレミアム商品券事業) 消費振興活性化補助 550万円追加

建築技術職員雇用のた

南富良野町教育委員会

に関する条例

めの補正予算

教育長の給与及び勤務

▼補正予算の主なもの

南富良野町職員の給与 時間等に関する条例

に関する条例

▶工事請負契約の変更

行っている。

考え直さなければなら

金山地区福祉複合施設建設に伴う建築主体工事 <変更理由>

当初設計で建築資材の 一部とし てサッシ窓に予定 ていた町産カラマツ材を利用した木製サッシの受 注者が下請け発注していた木製サッシ製作会社が納 これに変わるサッシ建具とし て製作期間が短い 樹脂サッシに設計変更、加えて工期の延長、これに 伴う諸経費の増加が発生したため

	契約金額	工 期
変更前	2 億7615万6000円	平成27年2月27日
変更後	2 億8477万3320円	平成27年3月25日

住宅 (定住) 施策等

に伴い用地600

 m^{2}

ま

が、

地域住民の生活環境

説明を受けた。 次のとおり所管課 から

♥マイホーム建設促進事業

限度額を3万円から5万 円に変更する。 したい。 図るため、 持家による定住促進を 増築16㎡以上で 引き続き実施

住宅地分譲

る。 300㎡まで無償、 はあるが無償提供という 望者を問わず、 もっと広い土地で自由に たものの実績はない。 内の住宅建設可能地を全 は実勢価格での販売。 設を促したい。一般住宅 インパクトを与え住宅建 過ごすことを希望してい 住者は分譲地ではなく、 で町外からの照会はあっ して無償の対象とする。 て含め、 主に移住者向けの政策 町内居住者、 移住用住宅地と 面積制限 移住希 残り 町

·民間賃貸共同住宅建設

的に必ずしも活かされて いるとは思われない。 賃貸住宅供給という目 補助金が優良で低家賃 これまで町内業者の雇 確保が重要と言ってきた ほうが良いのではないか

外を問わない。 主 進という目的のため、 ストックの確保と定住促 ることも期待する。 が安価な住宅が供給され 積・間取りを気にするこ でを無償提供とする。 となく、1Kなど小さい 建設業者は町内、 住宅 町 建

あった。

ベ

きであるとの意見が

望ましい。基本方針を施

設長会議で提案し、

内部

分については、

大乗会が

受けた。

として介護の住宅施設部

努力を促しながら進める

であり、

町内業者の企業

を守ることも行政の役割

において、

担うべき業務

今後提

示説明させていた

等の検討もあることから

だくと担当者から説明を

福祉担い手対策の会議

◆危険廃屋解体撤去費補 助 金

び上限設定を見直す。5 安全を図るため、 景観の保全と住民生活の は廃止する。 千円/㎡の補助で上限等 廃屋解体をより促進! 定率及

|住宅リフォーム促進事業

フォームについては、 的に平成27年度より事業 居住してもらうことを目 いようマイホーム増築と は超えるので、 し手をかけても100万 度に補助を行う。 費の1/3、 委員からは住 住宅を長持ちさせ永く 30万円を限 使いやす 少 1]

担うべき業務内容(役割と責任)

●障がい関係

様に50万円限度にした

ホームヘルプ=社会福祉協議会 宅 在 修業支援=大乗会 からまつ園・こざくら園 =大乗会

設 グループホーム ●地域福祉関係

日常生活

配食・除雪 =社会福祉協議会 外出・移送等

支援事業 ▶介護関係

施

宅 在

訪問介護 =社会福祉協議会 包括支援

在 宅 (施設)

デイサービス =大乗会 生活支援ハウス

設 施

室改修工事

特別養護老人ホーム=大乗会

①道営中山間地域整備事 意見があった。 付けるということのない はないか。一方的に押し なければならないことで めたときから進めていか えていない。建てると決 運営の具体的なものが見 ように進めてほしいとの 主要事業視察調査 業かなやま湖畔地区工 委員からは、 複合施設

金山地区福祉施設の整備

るよう進めたい。

建設中

協議を経て正式確認とす

◆福祉担

い手対策

の在り方 ◆福祉サービス推進体制 議等の開催状況と課題 対策について説明。 ワーキンググループ会

後は方針に従って大乗会

営となるかと思う。

その

体制が整うまでは町の直 月オープンになるので、 の複合施設についても4

ス推進体制の在り方に関 いて説明 本町の各種福祉サービ (案)

する基本方針

での運営にしていきたい

れの機能の条例は一部改 例が必要になる。 新しい施設なので設置条 正でと考えており、 それぞ 料金

③金山トナシベツ線歩道 ②金山団地解体工事 事(金山高台道路改良)

④金山地区 新設工事 福 祉複合施設

⑤幾寅東団地解体工事 建設工事

⑥南富良野小学校外構整 備工事

⑧南富良野小学校 ⑦南富良野小学校遊具 置工事 旧 音楽 設

視察調査を行った。 以上8主要事業の現地



平成26年10月~12月

10月10日 ○新ひだか町議会経済常任委員会行 政視察

11日 ○自由民主党北海道第6選挙区支部 経済セミナー (旭川市)

18日 〇北部方面隊62周年記念行事

~19日 (札幌市)

21日 〇富良野沿線議会議員研修会 (占冠村)

22日 ○上川管内町村議会議長研修会

~23日 (東神楽町)

28日 ○上川管内町村議会議員研修会 (鷹栖町)

11月3日 ○南富良野町表彰式

10日 〇富良野沿線市町村議会議長会定例 (秋期)議長会(中富良野町)

11日 〇上川管内町村議会議長会臨時会議

~12日 〇町村議会議長会全国大会(東京都)

13日 ○富良野沿線市町村議会議長会視察

~14日 研修(長野県、富山県)

11月13日 ○南富良野町敬老会

18日 ○東京ふらの会総会(東京都)

19日 〇決算審査特別委員会

~21日

21日 〇全員協議会

26日 〇総務常任委員会

28日 ○第4回町議会臨時会

○議会運営委員会

29日 ○北海道日本ハムファイターズと小中学生との植樹祭及び野球教室

12月6日 ○第12回南富良野町社会福祉大会

12日 〇議会運営委員会

15日 ○陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科 群第131特科大隊南富良野協力会定 期総会

18日 〇第4回町議会定例会

~19日 ○議会運営委員会○総務常任委員会

○全員協議会○議会広報特別委員会

○振興公社対策特別委員会

お茶の間で議会傍聴

☆議会本会議インターネット配信開始☆

3月定例会より町議会本会議の模様が南富良野町のホームページから生中継で見られるようになります。

「開かれた議会」を実現するため、議会の総意として実施します。議員・当局双方とも緊張感を持って、より深い政策論議を目指します。



3月定例会は3月11日から20日の予定です。 詳しくは議会事務局(☎52-2114) へお問い合わせください。

年

0

冬は

雪

どが た です。 で討 るは 製の ること 大 すく 景 政 品值税 権 議 も住 17 続 が な 論し 会に の つ なるの 住 私 変 限 の民 上 気 府 私ども いような: たち ぱ 民 で、 自 7 厳 電 税 0) 17 げ、 口 11 ア が 福 治 比 す は 7 上 気 復 ように思 お です。 り、xx い、xx 更には 祉 政 較的 げ地 0 か 料 \mathcal{O} 自 ょ 金アッ 社会状 7 根 地 地 \mathcal{O} 策 議 域 不 経 0 言 治 会 生活 が 方議 Ξ 向を 幹と 済状 域 暖 0 0 員 0) 透 \exists 2与え 上提 同 課 明 石 用 は ます か 役 わ な 況 プ ス 題 会 が 割 を 士: 況 油 品 消 言

11 皆様はいろいるもらうのが広報で 機会あ に勉 努力 いう ば その 意見をお持 関 つく をか 断 を れた者として議 n 強し、 ため す で 場でどのような ではありませ を 7 くるため ŧ け るごとに議 ているか知 追認するだけ ることをお 17 米後記と 住みよ てい に ま 皆様 ちで す。 ŧ ただ に、 我 いろなご です。 首 か あ 々 共に 会と 長 願 郷 らは り、 つ 員 土 E て活 常 選 のの 17

編集後記

議 会 広 報 特別委員会 委 員

酒井年夫